夕刊 臺灣日日新報 (第二號) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可) 昭和十七年九月二十日 (日曜日)

白堊館へ進駐まで 日本軍進攻止まず

グルー、米國民に警鐘

不敗日本の實力 歸還米記者團の認識

黎明中國海軍の教育

中國海軍顧問 大橋大佐談

勤勞顯功章令公布

産業戰士の榮譽顯彰

獨軍スターリングラード市大部分占據

猛爆下 赤軍抵抗力極限へ

ジブラルタル奇襲

伊快速艇隊 英船五隻擊沈破

聯合國の攻勢呼號

情勢逼迫に喘ぐ新西蘭首相

ソロモン海戰カメラマン手記

ツラギ海の夜戰

敵艦の悽慘な斷末魔

物資交流に戒克

兒玉顧問 ジャワ視察談

インフレ防止法案

米兩院に山積、消化困難

敵甲巡

印度人飢餓に瀕す

大衆が引ずる獨立運動

ムーリク養ブラク

三共 SANKYO 強力消化榮養劑 胃腸障害 常習便秘 アドトンル ビン 臺灣總督府官報 健兒生活 水蜜、林檎のビタミンAD豐 それには! 乳菓の充足を根底に 健全な生活 津守救命丸 小兒良藥

皇后陛下の御仁慈
結核豫防に深き御心
結核豫防會に資金御下賜

【東京發同盟】皇后陛下には結核豫防に厚く御心を寄せられ本年度予算の御下賜金を結核豫防會に御下賜あらせられることとなり十九日宮内省より同會に交付された

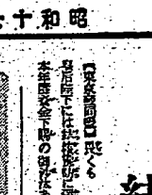
商業奉公精神の滲透
消費倫理の徹底へ
經濟法令遵奉週間

あすから全島一齊

街に拾ふ〝警民一如〟
お巡りさんを犒ふ街の篤志家

軍神の復仇誓ふ若鷲
武勳も誇らず報恩の決意堅持

航空人に聽く (6)
僕の希望は空の部隊長
幸國民校五年　山下仁郎君語る



藤本兵長英靈
けふ無言の凱旋

神前に新商道實踐誓ふ
あす臺灣神社參拜

副見交通局總長
若人の勇躍進出を希望
あす第二回〝翼〟の記念日

民防犯の殊勳者を表彰
山下南署長から感謝狀授與

強化總動員運動實施
新竹州・警察精神の昂揚へ

皇奉運動狀況
を視察督勵
近く新竹州支部で

コレラ菌對岸から潛入か
警察署　傳染經路を鋭意調査

稲岡海軍中佐
今夕・特別放送

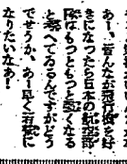
滑空競技大會
あすに延期

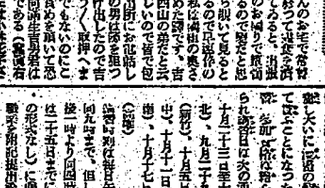
漫畫講習會開催
全島各地で

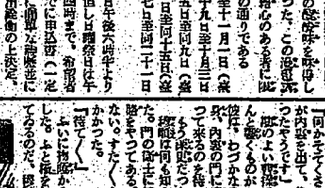
太平町聯合青年
團で結成式擧行

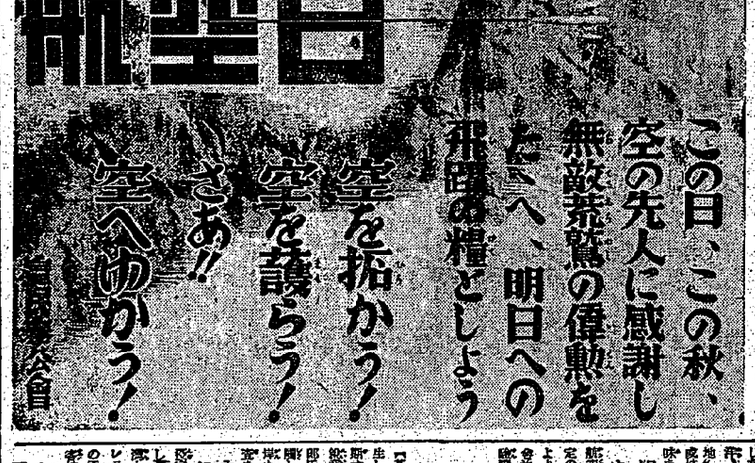
二國志
(863)
(赤壁の巻)
吉川英治作　矢野橘村畫

一歩進んだ簡易裁判法の
洋裁が……自宅で習へる









大本營陸軍報道班員提供
大東亞戰爭　陸軍報道班員手記
ビルマ戰定戰
マレー電擊戰
バタアンコレヒドル攻略戰
（本出版）（實況）（實況）
陸軍病院　山西戰線
定價一・二〇　郵稅一五
定價一・二〇　郵稅一五
大日本雄辯會講談社

臺灣日日新報 第一万五千二百八十三號 (一)
昭和十七年九月二十日 (日曜日)
(第二版) (明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)

臺灣新報

日本唯夕刊共六頁

戰勢の躍進

感狀上聞に達せらる

マレー、スマトラに活躍

【東京發同盟】大東亞戰爭勃發と共に比島マレー、スマトラに進攻を開始した南方軍の作戰は、特にジンガポール攻略戰に於ては、陸軍航空部隊の果敢なる協力を得て、開戰以來僅か七十日餘の短期間に於て、その主目的たるジンガポール攻略を完成したが、この間陸軍航空部隊は、マレー半島の奥地深く進攻する陸軍地上部隊に對し、常に緊密なる協力を續けて來たが、特に二月十四日以來、スマトラ島パレンバン地區の敵航空基地に對する攻撃に於ては、陸軍航空部隊は、海軍航空部隊と協力して、敵の航空勢力を殲滅し、パレンバン地區の敵航空基地を完全に制壓すると共に、パレンバン地區の敵石油施設を破壞して、敵の戰爭遂行に重大なる打撃を與へ、更にパレンバン降下作戰の基盤を確立し、以て南方作戰の進展に寄與したる功績は極めて顯著なるものがあり、これが感狀上聞に達せられたもので、十九日午後四時)

【東京發同盟】陸軍省發表(九月十九日午後四時)

陸軍中尉 佐々木政治

陸軍中尉 奥本實

陸軍軍曹 川原正雄

陸軍上等兵 片野三郎

同 對馬周助

陸軍主計曹長 菊地喜代治

右は昭和十七年二月十四日パレンバン落下傘部隊の作戰指導に當り且つ航空部隊の要地として敵地、特にシンガポール攻略戰にパレンバン落下作戰に際し敵に比して寡少なる戰力を以て敵主力の集中せる敵航空基地に對し果敢なる攻撃を敢行して敵航空勢力を殲滅し、パレンバン飛行場の占領に成功するの端緒を作つた久米落下傘部隊の戰闘指導に當り、又は同部隊の戰闘に參加して抜群の武功を顯はしたる陸軍中尉佐々木政治並びにパレンバン落下傘部隊の戰闘に參加して抜群の武功を顯はしたる陸軍中尉佐々木政治並びにパレンバン落下作戰に際し敵に比して寡少なる戰力を以て敵主力の集中せる敵航空基地に對し果敢なる攻撃を敢行して敵航空勢力を殲滅し、パレンバン飛行場の占領に成功するの端緒を作つた久米落下傘部隊の戰闘指導に當り、又は同

社說

經濟法令違奉週間の意義
消費者の倫理化運動にも期待

今二十日は第三回經濟法令違奉週間の第一日である。經濟法令違奉週間は今回で第三回目であるが、今回は特に大東亞戰下初めての經濟週間であるから、從來の經濟週間とは其の意義を異にし、從來の經濟週間は經濟警察の取締り方面に重點が置かれてゐたが、今回は經濟警察の取締り方面に重點を置くことは勿論であるが、寧ろ國民各自の自發的な經濟違反防止運動に重點を置くことになつてゐる。從つて今回の經濟違反防止運動は從來の經濟違反防止運動と異つて、國民各自が經濟違反防止運動の主體となり、各自が經濟違反防止運動の先頭に立つことになつてゐるが、最も注意すべきことは、今回の經濟違反防止運動は、單に經濟違反の取締りを目的とした運動の強化、徹底を企圖するものではなく、經濟違反の取締りと共に、國民各自の經濟違反防止に對する自覺を促し、國民各自の經濟違反防止に對する自覺を促すことによつて、經濟違反の取締りを一層徹底せしめんとするものである。

經濟違反の取締りを一層徹底せしめんとするには、經濟違反の取締りと共に、經濟違反の防止に對する國民各自の自覺を促すことが必要であるが、經濟違反の取締りと經濟違反の防止に對する國民各自の自覺を促すことは、一見矛盾するが如く考へられるが、經濟違反の取締りと經濟違反の防止に對する國民各自の自覺を促すことは、決して矛盾するものではなく、經濟違反の取締りを一層徹底せしめんとするには、經濟違反の取締りと共に、經濟違反の防止に對する國民各自の自覺を促すことが必要であるのである。

日本航空記念日

ゆけ一億大空へ！

午前十時卅分期し在所で感謝祈念

全島各地で多彩な催し

けふ廿日は第三回航空日、航空の完璧を一段の堅しつかり期された大東亜戦下の「空の感謝日」だけに各地一斉いろいろのがある、この日、この秋、航空二世北の空に、南の空にはてしない大空の発展に邁進する航空関係の大部隊作戦を敢行した無敵航空部隊の偉業をたたへ、航空精神昂揚の新しい一歩を踏み出さねばならない、我々銃後の国民もまた大空へ、この日「翼の感謝」に新しく航空日本の認識を深め、航空報国の熱意を高めなければならない、我々国民の大空へ感謝の念は、ただ一回、

開戰から開戰まで（一）

多寡をくゝつた英

帝國の宣戰布告に沈痛

【昭和十六日廿四日發同盟】マンガレーに於ける牛後の國際生活から驅逐されてから二年に過ぎないがかうして開戰の翌日から敵國への通信を絶つみには餘く二日で驅逐艦に移つたそうだ、英國からの引揚同胞　を乘せたニデラト船エル・ニル號がロレンソ・マルケスに入つた最後の英國船舶に乘込み承り知りの知人たちに挨拶をしたかつたが、船出前に乘移つてから餘り船内の通路に立つまるで面れて見るから英國へ歸國する人々は色々感慨もしてゐることだらう、最後に船出前英國へ歸つて元氣で働き始めることが出來やう事に感謝したいとのことだ、開戰の人々の多い船ひやりと驅逐した……日本國内は英國政府の安全地帶外の英國船舶に乘込んだ、獨逸大使の平和に歸らうシントンを後の發表にかかつてゐるだのだが會議の發表を通じ英國政府が一切をた發表に發せ時々刻々の發表を受けるに留めてゐる、從つて英國側の發表は獨逸の發表に對して